

富士通株式会社



田辺市の「企業の森」で
森林保全活動の実施を決定！



このたび、情報通信機器等の大手メーカーである**富士通株式会社**が、田辺市において、県が進める「企業の森」事業(※)を活用し、森林保全活動を実施することになりました。

「**富士通グループの森(仮称)**」の活動は、今後10年間にわたり広葉樹を育林していく森林保全活動で、この森林保全活動の実施と併せ、地元田辺市の皆さんとの交流など、都市と地方の交流による地域の活性化にも寄与するものと期待されます。

なお、この「企業の森」事業への企業等の参画は、本年度5団体目、全体では32団体目となり、本県としても、今後この事業への企業等の参画に拍車がかかるものと期待しています。

■「富士通グループの森(仮称)」の概要

① 実施地の概要

田辺市龍神村甲斐ノ川の山林 約1.4ha(民有林)

② 実施計画

ボランティア活動として、地元の方々の協力を得て、植樹や下草刈りに取り組み、その活動を通して、森林の重要性や環境問題への理解をより一層深める。

平成20年春頃に植栽を実施し、以降10期(10年間)にわたって下草刈り等の森林保全活動を行う。

・植栽樹種及び本数

ヤマザクラ、ヤマモミジ、ケヤキ、カシ類等 約2,800本

・植栽や下草刈り等の作業及び現場管理等については、龍神村森林組合に委託する。

・社員や社員の家族が植栽や下草刈り等の作業に参加する。

■森林保全・管理に係る協定の調印式

平成20年2月25日(月) 15:30~

富士通(株)と田辺市、そして県によるそれぞれの森林保全方針等に係る協定の調印式

- ・場 所：和歌山県庁本館3階 知事室
- ・出席者：富士通(株) 経営執行役 関西営業本部長 下島 文明
田辺市副市長 森 章二
和歌山県知事 仁坂 吉伸
龍神村森林組合 代表理事組合長 栗原 秀嘉
土地所有者 他

